

## 2019 年度 学修成果および学修行動の調査結果

北海道文教大学教育開発センター

本調査は、学生の学修成果および学修行動を把握するために、2019 年度後期オリエンテーション時（主に9月）に実施されたものである。問はルーブリックの形式であり、あくまで学生の自己評価である。問ごとに各学科別学年別に集計した結果をまとめてあり、これが今後の教育改善のための参考となれば幸いである。なお、回答者数および回答率は以下の通りである。

### 回答者数および回答率

回答数	1年	2年	3年	4年	
国際言語	41	30	28	46	145
健康栄養	97	94	107	135	433
理学療法	91	86	89	81	347
作業療法	32	32	36	49	149
看護	92	89	99	83	363
こども発達	74	83	81	83	321
	427	414	440	477	1758

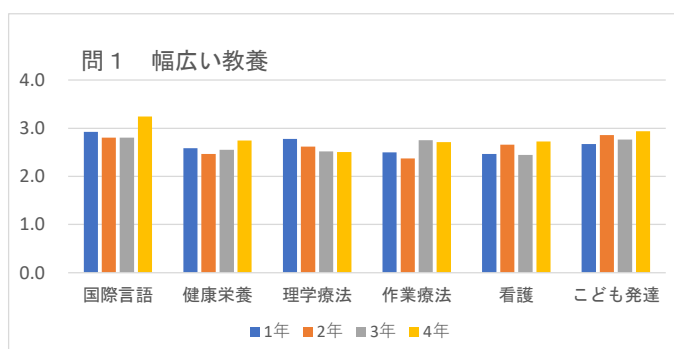
回答率	1年	2年	3年	4年	
国際言語	85.4%	61.2%	50.0%	56.8%	62.0%
健康栄養	92.4%	88.7%	94.7%	84.4%	89.5%
理学療法	93.8%	95.6%	96.7%	98.8%	96.1%
作業療法	86.5%	88.9%	94.7%	98.0%	92.5%
看護	98.9%	95.7%	99.0%	97.6%	97.8%
こども発達	89.2%	90.2%	92.0%	79.8%	87.5%
	92.2%	88.8%	90.3%	84.9%	88.9%

以下に各問の質問項目と集計結果を示す。

### 問1 幅広い教養

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
自然・社会・文化に関心が無い。	自然・社会・文化に関心はあるが、それらの知識の修得に取り組んでいない。	自然・社会・文化に関心があり、それらの知識の修得に取り組んでいる。	左記に加えて、それらの事象の原因や理由を考える習慣がある。	左記に加えて、得られた知識を日常生活、社会生活に活用できる。

問 1	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.927	2.800	2.808	3.239
健康栄養	2.588	2.462	2.557	2.746
理学療法	2.778	2.616	2.517	2.506
作業療法	2.500	2.375	2.750	2.714
看護	2.467	2.659	2.444	2.723
こども発達	2.671	2.855	2.765	2.940

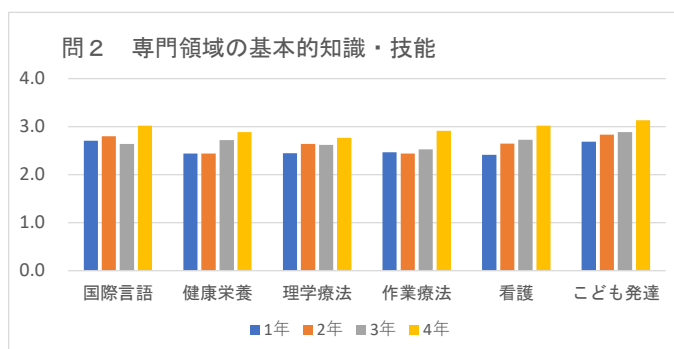


1年次では教養科目が多数配置されているためか、2年次よりもレベルが高い学科がある。ただ、理学療法学科を除いてやはり4年次にレベルが高い傾向がある。

### 問2 所属する学科の専門領域における基本的な知識・技能

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
専門的な知識・技能にまだ触れる機会がない。	専門的な知識・技能に取り組んでいるが理解不足である。	専門的な知識・技能の基本はおおむね理解している。	専門的な知識・技能を実際の場面でおおむね活用できる。	専門的な知識・技能を実際の場面で十分活用し、応用もできる。

問 2	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.707	2.800	2.643	3.022
健康栄養	2.438	2.436	2.720	2.889
理学療法	2.451	2.640	2.618	2.765
作業療法	2.469	2.438	2.528	2.917
看護	2.418	2.648	2.727	3.024
こども発達	2.685	2.829	2.889	3.133

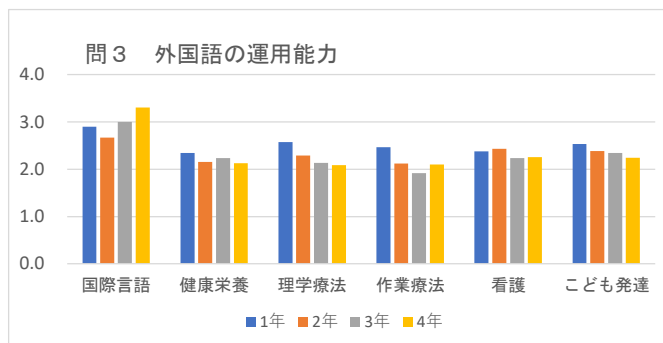


おおむね高学年になるにしたがって専門領域における基本的な知識・技能が身についているようである。

問3 外国語の運用能力（各枠内に記述されたすべてのことにあてはまるかどうかで自己評価して下さい。）

<p>レベル1 ごく簡単な短い文章でも理解できない。 相手がゆっくり、はっきりと話してもやりとりができない。</p>	<p>レベル2 ごく簡単な短い文章が理解できる。 相手がゆっくり、はっきりと話していれば、簡単なやりとりができる</p>	<p>レベル3 短くて簡単なメッセージであれば、要点が理解できる。 日常的な仕事の中で簡単な話し合いができる。 簡単なメモが書ける。</p>	<p>レベル4 標準的な話し方であれば、要点を理解できる。 なじみがある話題であれば、会話に入っていくる。 身近な話題について、簡単なだがまとまりのある文章が書ける。</p>	<p>レベル5 自分の専門分野の技術的な議論や複雑な文章の主要な内容を理解できる。 母語話者と流暢にやりとりができる。 幅広い話題について、明確で詳細な文章が書ける。</p>
--	--	--	---	---

問3	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.902	2.667	3.000	3.304
健康栄養	2.340	2.160	2.234	2.127
理学療法	2.571	2.291	2.136	2.086
作業療法	2.469	2.125	1.914	2.102
看護	2.380	2.432	2.232	2.253
こども発達	2.534	2.386	2.346	2.244

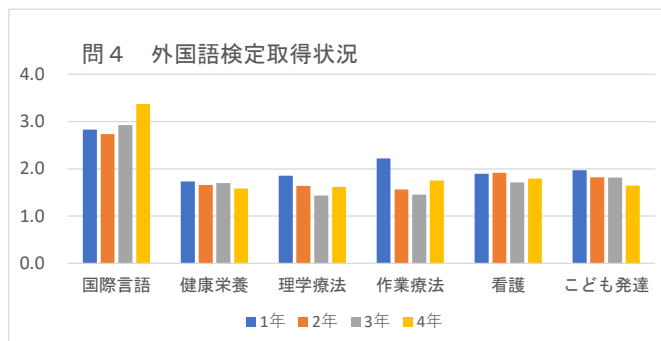


国際言語学科では1年次においても他の学科より外国語の運用能力のレベルが高く、高学年になるほどはさらにレベルが高くなる。一方それ以外の学科では高学年ほどレベルが低くなる。これらの学科で英語の科目が高学年次で開講されていないことが関係しているかもしれない。

問4 外国語検定の取得状況

<p>レベル1 TOEIC200 未満 または英検4級以下</p>	<p>レベル2 TOEIC300 以上 または英検3級</p>	<p>レベル3 TOEIC400 以上 または英検準2級</p>	<p>レベル4 TOEIC550 以上 または英検2級</p>	<p>レベル5 TOEIC750 以上 または英検準1級以上</p>
---	---	--	---	--

問4	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.829	2.733	2.926	3.370
健康栄養	1.737	1.660	1.701	1.586
理学療法	1.857	1.640	1.438	1.620
作業療法	2.226	1.563	1.457	1.755
看護	1.900	1.919	1.711	1.793
こども発達	1.973	1.825	1.815	1.646

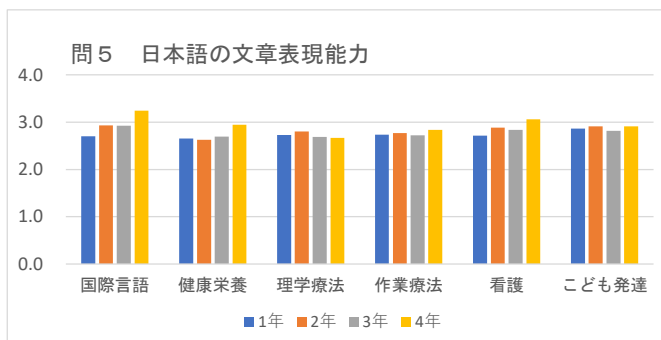


国際言語学科では検定取得の学生が多い。また問3同様に高学年になるほど国際言語学科で外国語の検定取得のレベルは高くなる。一方それ以外の学科では高学年ほどレベルが低くなるか横ばいである。

問5 日本語の文章表現能力

レベル1 自分の考えや、レポートの考察を文章で表現することが困難である。	レベル2 自分の考えや、レポートの考察をほぼ文章で表現できるが、明確さと具体性に欠ける。	レベル3 時間をかければ明確かつ詳細な文章や根拠を示すレポートを書くことができる。	レベル4 明確かつ詳細な文章や、根拠を示すレポートを比較的容易に書ける。	レベル5 左記に加えて、課題に関連した説得力のある文章を書ける。
---	---	--	---	-------------------------------------

問5	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.700	2.933	2.929	3.244
健康栄養	2.649	2.628	2.698	2.947
理学療法	2.725	2.802	2.690	2.667
作業療法	2.733	2.774	2.722	2.837
看護	2.714	2.885	2.837	3.060
こども発達	2.863	2.916	2.821	2.915

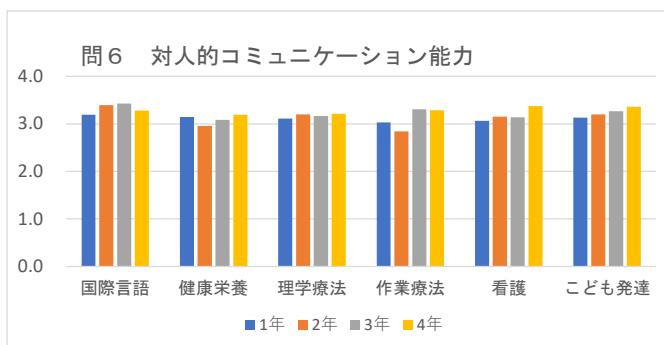


国際言語学科、健康栄養学科、看護学科では高学年になるほど日本語の文章表現能力のレベルは高くなる。それ以外の学科ではほぼ横ばいである。

問6 対人的コミュニケーションの能力

レベル1 他者に自分の意見を伝えるために言葉を選ぶことが困難である。また、相手の言葉の意図が理解できない。	レベル2 伝えたい言葉がやや不正確で誤解されやすい。また、相手の言葉をよく誤解する。	レベル3 言葉を選んで他者に自分の意見を伝えることができ、相手の言葉を理解できる。	レベル4 良く考えられた言葉を選んで他者に自分の意見を正確に伝えることができ、相手の言葉を正確に理解できる	レベル5 左記に加えて、印象的で説得力のある伝えかたができ、相手の意見を総合し発展的な関係を築くことができる。
--	---	--	--	--

問6	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.195	3.400	3.429	3.283
健康栄養	3.144	2.957	3.085	3.194
理学療法	3.110	3.198	3.169	3.210
作業療法	3.031	2.844	3.306	3.286
看護	3.065	3.157	3.141	3.373
こども発達	3.137	3.205	3.272	3.361

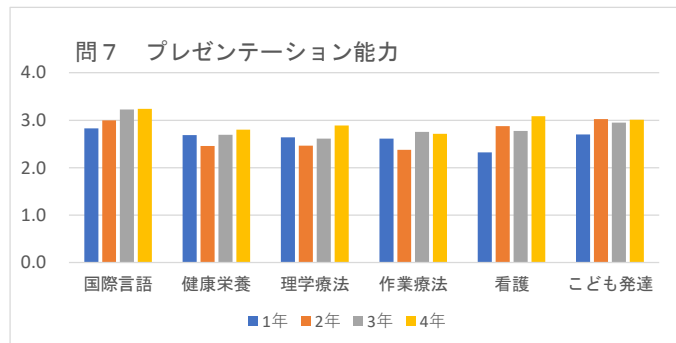


どの学科も学年を通じてほぼ横ばいである。ただし、1年時からレベル3を超えている。

問7 プレゼンテーションの能力

レベル1 プレゼンテーション資料の作成方法や発表方法がわからない。	レベル2 プレゼンテーション資料の作成はできるが、発表方法に自信がない。	レベル3 プレゼンテーション資料の作成ができ、発表をひとつおこなうことができる。	レベル4 左記に加えて、聞き手が理解しやすい説明や工夫を行うことができる。	レベル5 左記に加えて、質疑応答を適切に行うことができる。
--------------------------------------	---	---	--	----------------------------------

問7	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.829	3.000	3.222	3.239
健康栄養	2.691	2.457	2.692	2.800
理学療法	2.637	2.465	2.614	2.889
作業療法	2.613	2.375	2.750	2.714
看護	2.326	2.876	2.778	3.084
こども発達	2.699	3.024	2.951	3.012

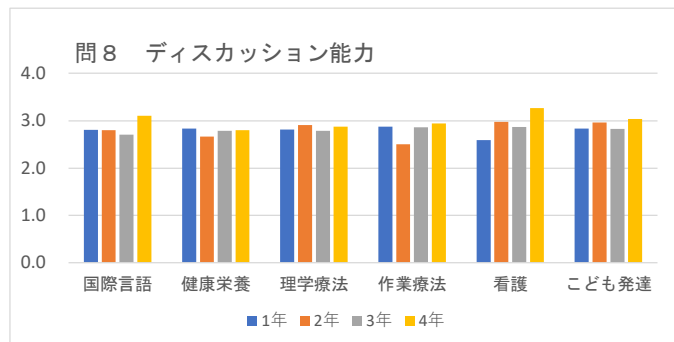


どの学科も学年が進むにつれてレベルは高くなっているようだが、一部の学科で4年次でレベル3に達していない。発表方法に自信がない学生の割合が一定数いるようだ。

問8 ディスカッションの能力

レベル1 自分の意見や考察がなかなかまとめられない。	レベル2 自分の意見や考察を説明できるが、他者との質疑応答ができない。	レベル3 自分の意見を持ち、適切に他者とディスカッションを行うことができる。	レベル4 左記に加えて、ディスカッションの内容を正確かつ的確に要約できる。	レベル5 左記に加えて、新しい発想や建設的な意見を編み出すことができる。
-------------------------------	--	---	--	---

問8	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.805	2.800	2.704	3.109
健康栄養	2.835	2.667	2.785	2.800
理学療法	2.813	2.907	2.787	2.877
作業療法	2.875	2.500	2.861	2.939
看護	2.587	2.977	2.869	3.265
こども発達	2.836	2.964	2.825	3.037

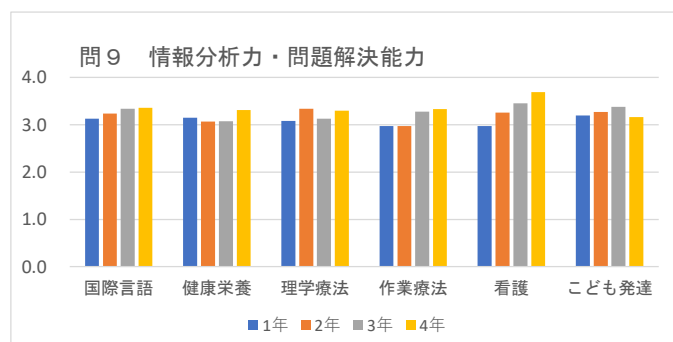


国際言語学科、看護学科では4年次にレベルが高くなっている。それ以外の学科では学年を通じて、ほぼ横ばいである。

問9 情報分析力や問題解決能力

レベル1 問題点を解決するための情報を収集・整理する方法がわからない。	レベル2 問題点を解決するための情報を収集・整理する方法はわかるが、情報を分析する方法がわからない。	レベル3 問題点を解決するための情報を収集・整理・分析できるが、解決法を示すことができない。	レベル4 問題点を解決するための情報を収集・整理・分析し、一般的な解決法を示すことができる。	レベル5 問題点を解決するための情報を収集・整理・分析した結果から、新しい解決法を示すことができる。
--	---	---	---	---

問9	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.125	3.233	3.333	3.356
健康栄養	3.146	3.064	3.075	3.311
理学療法	3.077	3.337	3.124	3.296
作業療法	2.969	2.969	3.278	3.327
看護	2.967	3.258	3.455	3.687
こども発達	3.194	3.265	3.375	3.159

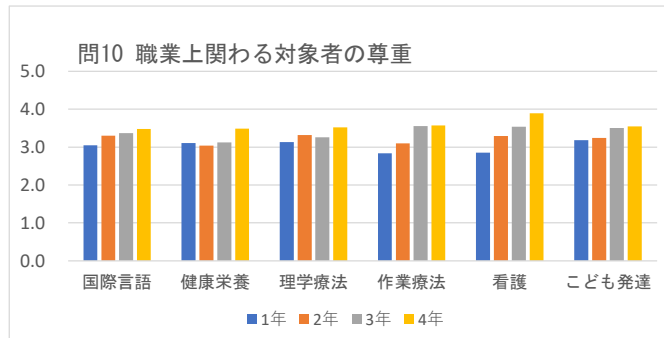


看護学科では高学年になるにつれて確実にレベルが高くなっている。その他の学科もおおむね4年生のレベルが高くなっている。

問10 職業上で関わる対象者を尊重する心構え

レベル1 対象者が置かれている状況の理解、気持ちの汲み取りについての知識がない。	レベル2 対象者が置かれている状況を理解し、気持ちの汲み取りを行うための知識を学んでいるが、まだよく理解していない。	レベル3 対象者が置かれている状況を理解し、気持ちの汲み取りを行うための知識をひととおり得た。	レベル4 実際の場面で対象者が置かれている状況を理解し、気持ちを汲み取ることがおおむねできる。	レベル5 実際の場面で対象者の状況を理解し、気持ちを汲み取ることが十分できる。
---	---	--	--	--

問10	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.049	3.300	3.370	3.477
健康栄養	3.106	3.043	3.121	3.489
理学療法	3.133	3.314	3.258	3.519
作業療法	2.839	3.097	3.556	3.571
看護	2.856	3.295	3.535	3.889
こども発達	3.181	3.241	3.506	3.542

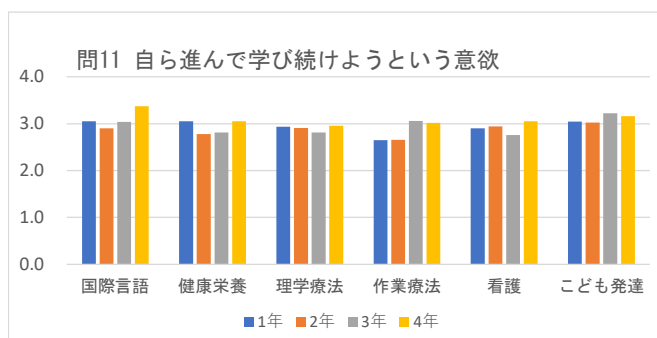


どの学科も高学年になるにつれてレベルが高くなっている。看護学科ではその傾向が著しい。

問11 自ら進んで学び続けようという意欲

レベル1 授業や与えられた課題についても取り組みない。または取り組む自信がない。	レベル2 授業や与えられた課題について、受け身であり、自分からは取り組みない。	レベル3 授業や与えられた課題について、関心をもって取り組むことができる。	レベル4 授業や与えられた課題に関連した発展的テーマを自ら調べることができる。	レベル5 左記に加えて、自分が問題意識をもっているテーマについて調べている。
---	--	--	--	---

問11	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.049	2.900	3.036	3.370
健康栄養	3.052	2.777	2.811	3.052
理学療法	2.934	2.907	2.809	2.951
作業療法	2.645	2.656	3.056	3.020
看護	2.902	2.944	2.758	3.048
こども発達	3.041	3.024	3.222	3.157

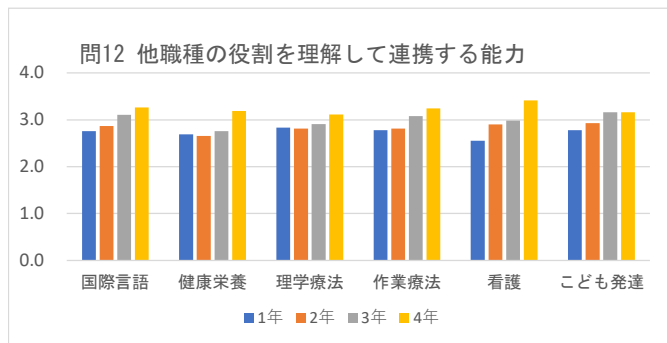


1年次では比較的高いレベルだが、2年3年次に減少し、4年次に再び高くなる学科がある。2年次以降専門領域が入ってくるにもかかわらず、1年次におけるモチベーションが維持できていないのかもしれない。

問12 他職種の役割を理解して連携する能力。

レベル1 自分が目指す職種以外の職種についてはその役割がわからない。	レベル2 自分が目指す職種と連携する他職種の役割は知っているが、連携する内容がわからない。	レベル3 自分が目指す職種と連携する他職種の役割や、連携する内容をひととおり知っている。	レベル4 実際の場面で他職種のひととおりとの連携ができる。	レベル5 実際の場面で他職種のひとと連携して目的を成し遂げることができる。
---------------------------------------	--	---	----------------------------------	--

問12	1年	2年	3年	4年
国際言語	2.756	2.867	3.107	3.261
健康栄養	2.688	2.656	2.757	3.185
理学療法	2.835	2.814	2.910	3.111
作業療法	2.781	2.813	3.083	3.245
看護	2.554	2.898	2.980	3.415
こども発達	2.781	2.928	3.160	3.157

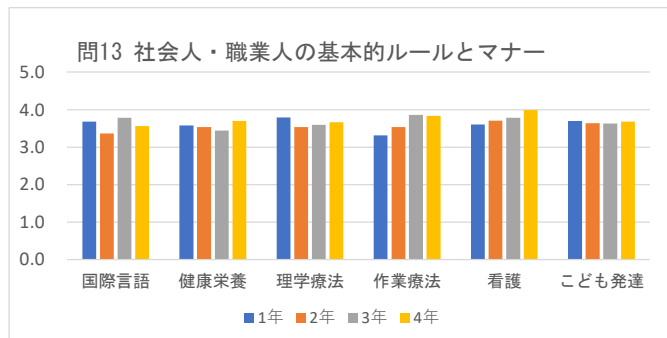


学年が進行するにしたがって、他職種の役割への理解がすすんでいる。

### 問13 社会人・職業人としての基本的なルールとマナー

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
社会人としてのルール、マナー、礼儀などがわからない。もしくは、守りたくない	社会人としてのルール、マナー、礼儀は知っているが、なかなか守れない。	社会人としてのルール、マナー、礼儀を、表面的にはあるが最低限守ることができる。	社会人としてのルール、マナー、礼儀の意義を理解して守ることができる。	社会人としてのルール、マナー、礼儀の意義を理解し、初めての場面でも適切な行動ができる。

問13	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.683	3.367	3.786	3.565
健康栄養	3.577	3.532	3.439	3.696
理学療法	3.791	3.535	3.596	3.667
作業療法	3.313	3.531	3.861	3.833
看護	3.609	3.705	3.786	3.988
こども発達	3.699	3.639	3.630	3.683

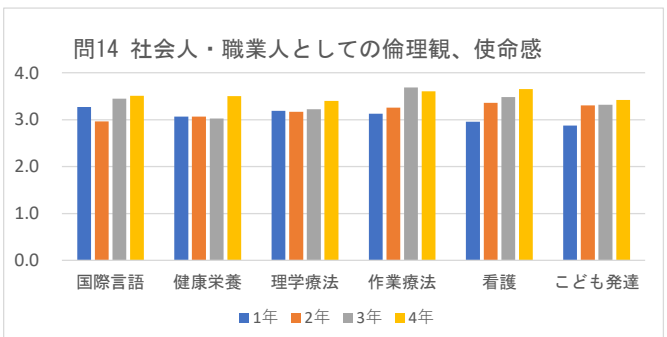


すでに基本的なルールとマナーは身につけているようである。

### 問14 社会人・職業人としての倫理観、使命感

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
社会人・職業人としての倫理観や使命感についてまだ取り組み機会がない。	社会人・職業人としての倫理観や使命感の理解に取り組んでいるが、まだよくわからない。	社会人・職業人としての倫理観や使命感の基本が理解できる。	実際の場面で倫理観や使命感にもとづいた行動がおおむねできる。	実際の場面で倫理観や使命感にもとづいた行動が常にできる。

問14	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.275	2.966	3.444	3.511
健康栄養	3.063	3.067	3.028	3.500
理学療法	3.188	3.171	3.218	3.405
作業療法	3.129	3.258	3.686	3.604
看護	2.956	3.356	3.485	3.654
こども発達	2.875	3.305	3.316	3.420

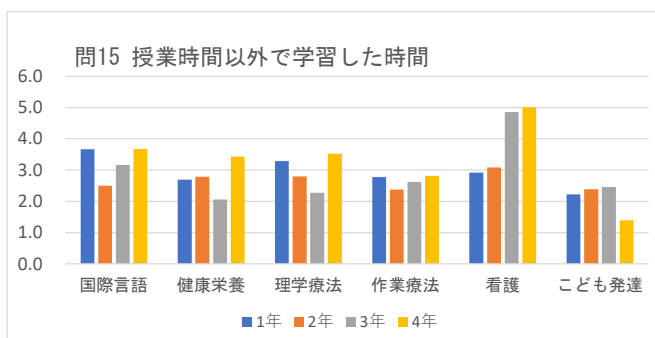


年次が進むにつれて社会人・職業人としての倫理観、使命感のレベルは上がっている。ただ、学科によっては4年次になってからレベルが上がる場合もみられる。

問 15 授業時間以外で学習した時間（1週間当たり）を教えてください。ただし、直近に終了した授業時期での授業に関連した学習時間とし、休みの期間中を除きます。

① 全くない	② 週 1 時間未満	③ 週 1 時間～ 3 時間未満	④ 週 3 時間～ 5 時間未満	⑤ 週 5 時間～ 7 時間未満	⑥ 週 7 時間～ 9 時間未満	⑦ 週 9 時間～ 10 時間未満	⑧ 週 10 時間以上
-----------	---------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	----------------

問 1 5	1年	2年	3年	4年
国際言語	3.671	2.500	3.161	3.674
健康栄養	2.700	2.793	2.065	3.430
理学療法	3.286	2.797	2.275	3.525
作業療法	2.781	2.375	2.625	2.816
看護	2.918	3.084	4.854	5.012
こども発達	2.226	2.386	2.457	1.392

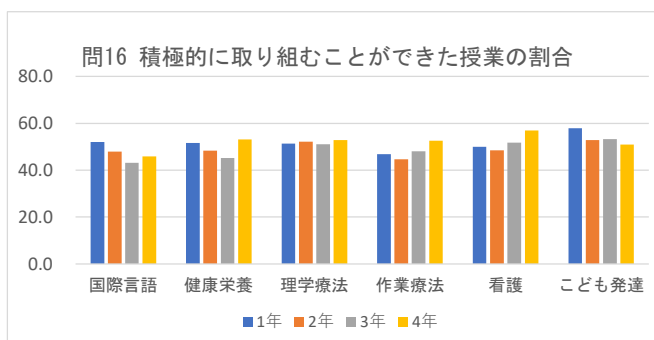


1週間当たりに授業時間以外で学習した時間はほぼ2から4時間程度である。看護学科3年生、4年生は5時間程度で比較的高く、こども発達学科4年生は1.4時間と低い水準である。

問 16 直近に終了した授業時期で、授業の内容に興味をもって積極的に取り組むことができた授業の割合はどれくらいでしたか。

① 10 %未満	② 10 %以上 20 %未満	③ 20 %以上 30 %未満	④ 30 %以上 40 %未満	⑤ 40 %以上 50 %未満	⑥ 50 %以上 60 %未満	⑦ 60 %以上 80 %未満	⑧ 80 %以上
-------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-------------

問 1 6	1年	2年	3年	4年
国際言語	52.0	47.8	43.1	45.9
健康栄養	51.5	48.2	45.2	53.0
理学療法	51.3	52.2	51.1	52.8
作業療法	46.9	44.7	48.1	52.6
看護	49.9	48.5	51.7	57.0
こども発達	57.9	52.8	53.3	51.0



おおむね50%程度である。